


2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

## 世界に希望を生み出そう

- 会長 中島 祐爾
- 幹事 緒方 公一



世界に希望を生み出そう

 No.1855 令和 06 年 03 月 27 日 第 32 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)


### 熊本東南ロータリークラブ花見例会

日時 令和6年3月27日(水) 18:30~  
場所 花畑御殿「城見櫓」

#### ■点鐘

#### ■会長の時間(会長 中島祐爾)

いよいよ40周年のイベントが迫ってまいりました。今日の花見例会を含め来週4月3日が式典前の最終例会となります。実行委員会のメンバーも内田実行委員長のもと、最終の打ち合わせの段階に入っています。最終的には金曜ウェルカムパーティーが総勢129名。土曜日13日の式典と懇親会が150名、日曜日14日さよならパーティーが133名となっています。

うちのクラブは小畑会員がいらっしゃるので宿泊、観光、ゴルフやバス、パーティー、食事の手配全てやっただけなので非常に助かります。小畑会員は現在海外添乗をはじめ、旅行説明会や打ち合わせなどで大変忙しい中ありがとうございます。体にはくれぐれも気をつけ頂きたいです。

それとアトラクションの一つである東南ロータリーバンドも何度もみんな夜集まり練習をされているみたいです。盛り上げてくれることと思います。

パーティーの席割、テーブルなどのレイアウトも松田会員がシーガイアの担当者や打ち合わせをしてもらっています。

あと、観光とゴルフの組み合わせも明日28日実行委員会メンバーで最終作成予定です。一度姉妹クラブへ送り組合せ送り確認してもらいましょう。

このように最終の打ち合わせをやっている段階です。参加いただける皆様も当日役割分担でお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願い致します。

また気になる点がありましたら、実行委員長はじめ委員会メンバーをおたずねください。

#### ■幹事報告(幹事 緒方公一)

#### ■来信案内

1) 日出RCより、創立40周年記念式典の案内。

日時 令和6年6月2日(日) 13:30~



場所 城島高原ホテル  
登録料 12,000円

2)

膳所和彦 ガバナー、瀧満 規定審議会代表議員より、2024年度決議案提出の件。

決議審議会への決議案の提出締め切り5月31日(地区事務所必着)

3)

膳所和彦 ガバナー、地区ローターアクト関係委員会より、第39回地区ローターアクト研修会登録の案内。

開催日 2024年6月22日(土)・23日(日)

開催場所 人吉カルチャーパレス、あゆの里、他

登録料 4,000円

懇親会費 8,000円

#### ■今後の地区行事

2024	4月7日(日)	地区研修・協議会	熊本県熊本市	熊本城ホール
		山田公也、彌富照皇、前田日出夫、福井学、片岡貞志、松岡泰光、村瀬直久、古田哲朗、堤勝也、杉本整哉、西田智史、武末直大、宮川義行		
2024	5月17日(金)~18日(土)	地区大会	大分県日田市	パトリア日田・日田温泉小京都の宿みくまホテル
		福井学、古田哲朗、生駒あき、草村安宏、片岡貞志、松本繁、前田日出夫、村瀬直久、松岡泰光、松田和成、中島祐爾、小畑成司、緒方公一、杉本整哉、内田信行、山田公也		

#### ■出席報告

(出席・プログラム担当 松田和成)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
03月06日	43 (免3) 40	30	2	32	80.00
03月13日	43 (免3) 40	29	3	32	80.00
03月27日	43 (免4) 39	27 Zoom1			69.23

☆出席免除

03月06日

住江正治 島村徹男 永野昭一

03月13日  
住江正治 島村徹男 永野昭一

03月27日  
住江正治 島村徹男 志賀重人 永野昭一



☆欠席者

03月06日(8名)  
井村宣敏、川崎直樹、松元将潔、小野川善久、武末直大、山本浩之、山坂哲生

03月13日(8名)  
古田哲朗、川崎直樹、松元将潔、宮國龍乃、小野川善久、武末直大、山本浩之、山坂哲生

### ■ 100%出席者表彰・記念品贈呈 (会長 中島祐爾)

35年松本繁君、30年沼田敏雄君、5年杉本整哉君



### ■ 点鐘

編集 松尾 浩

～ 懇親会 ～

### ● 開会のことば (親睦・スマイル担当 松岡泰光)



### ● 乾杯 (40周年実行委員長 内田信行)



### ● 閉会のことば (副会長 村瀬直久)



## 熊本東南ロータリークラブ 花見例会

日時 令和6年3月27日(水) 18:30～  
場所 花畑御殿「城見楼」

■ 例会 司会 SAA 片岡貞志

18:30 点鐘  
会長挨拶 会 長 中島祐爾  
幹事報告 幹 事 緒方公一  
出席報告 出席・プログラム担当委員 松田和成  
100%出席者表彰・記念品贈呈 会 長 中島祐爾  
35年 松本繁 君、30年 沼田敏雄 君(欠席)、5年 杉本整哉 君

■ 懇親会 司会 親睦・スマイル担当委員会

19:00 開会の言葉 親睦・スマイル担当委員 松岡泰光  
乾杯 40周年実行委員長 内田信行  
～ 歓談 ～  
21:00 閉会の言葉 副 会 長 村瀬直久

### 100%出席者表彰

35年間 100%出席記念品贈呈

松本繁 会員

30年間 100%出席記念品贈呈

沼田敏雄 会員

5年間 100%出席記念品贈呈

杉本整哉 会員

年間100%出席者

内田信行 会員 28年 白木誠一 会員 27年 鈴木義親 会員 24年  
横山佳之 会員 22年 永野昭一 会員 21年 小畑成司 会員 21年  
松本一也 会員 19年 山田公也 会員 12年 福井学 会員 11年  
村瀬直久 会員 11年 中島祐爾 会員 7年 松岡泰光 会員 6年  
緒方公一 会員 6年 瀧富照皇 会員 6年 草村安宏 会員 4年  
松田和成 会員 3年 片岡貞志 会員 2年 生駒あき 会員 1年  
小竹 誠 会員 1年

2024年3月27日現在

### ポリオ根絶への折れない心

投稿日: 3月22, 2024 投稿者: rotariymasa

列車事故で両足を失っても揺らがない、ポリオ根絶への決意



フーマ・アシュラフさんについて世間で知られている唯一のこと、それはヘルスワーカーとしての活動です  
2023年9月11日、人生の岐路となる出来事が起きたその日も、彼女はヘルスワーカーとして外に出ていました。線路沿いのスラム街で活動していたときに列車事故に巻き込まれ、カラチ(パキスタン)の病院に救急車で運ばれたのです。

「あっという間の出来事でした。線路の向こうにある家を訪問し

なければならなかったのですが、そこへ行くには線路を横切るしかありませんでした」。フーマさんは、事故当時のことを冷静に思い出します。「列車はまだ遠くにいるように見えたので渡れると思ったのですが、風が吹いて、私のドウパッタ（スカーフ）が列車に巻き込まれてしまったのです」

一瞬の間に、彼女は両足を失いました。

事故を目撃した人たちが救急車を呼ぶ中、彼女は驚くほど冷静に、手術による再接着を願って足を拾い、行きたい病院を指定しました。

妹のヒナさんは、その日のフーマさんがいかに勇敢であったかを振り返り、姉から受け取ったテキストメッセージを見せてくれました。そこには、驚くほどの明瞭さで次のように書かれていました。「足を失ったので病院に行きます。ママとパパには内緒にして」手術が始まる頃には既に5時間近くが経過しており、そのダメージは取り返しのつかないものになっていました。

ヒナさんは手術後、勇気を出して両親に事故のことを話しました。母親のルクサナさんは当初、足の指が損傷したのだらうと思いました。「私はけがの程度を理解できていませんでした」

### 困難を超越する

フーマさんは14歳のときから、アスピリンの効果は何か、女性が求める避妊法は何か、そして、経口ポリオワクチンを2滴投与すれば生涯ポリオから子どもを守れることを知っていました。これらは母親から教えられたことです。成長するにつれ、注射の打ち方も学びました。母ルクサナさんは、試みに自分に注射を打つてみることをフーマさんに求め、地域社会で基本的な医療を提供するための方法を一貫して訓練しました。

ヘルスワーカーのルクサナさんは、1995年に活動を開始しました。長女であるフーマさんも同行し、母娘二人でカラチの街を歩きながら、女性や子どもたちに必要な医療を届け、その過程で人脈を築いていきました。

ルクサナさんの5人の子どもたちは全員、ポリオ根絶のために活動した経験がありますが、フーマさんだけが第一線のヘルスワーカーとして活動を続けてきました。彼女はポリオプログラムのチームメンバーとなり、最終的に地域責任者にまで昇格しました。

ワクチン接種員として、フーマさんとルクサナさんが一緒に活動した時期があります。「重要人物が大きな車でやってくると、私たちが紹介されました。私たちの仕事ぶりをみんな知っていたからです」とルクサナさん。「フーマが1日でどれほど長い距離を歩けるかを知って、みんな驚いたものです。... フーマが歩けなくなる日が来るなんて思ってもみませんでした」

「二人とも事故のことを忘れてしまうことがあります。昨夜も、誰かがお茶をもってきたとき、自分のスリッパが見つからないものだから、つい、フーマのスリッパを借りようと尋ねてしまいました。そして、そのスリッパはきっと、あの線路上のどこかにあるのだと思い出すのです」

フーマさんは、夜の時間の多くを、なくなった足の痛みと共に過

ごします。「足の指が痛むように感じるんです。でも、もうそこにはないことに気づきます」

人生を変えるほどの喪失を経験しながらも、フーマさんはやりたい仕事に思いを馳せます。「ポリオの活動に戻りたい」と、いつかその日が来ることを信じています。この事故から、以前よりも受容と感謝の気持ちが高まりました。「神が私をこの困難に導いたのであれば、それに耐える力も私に与えてくださるでしょう」

「父はこのことでよく泣いています。それで私は、物事をありのままに受け入れなければならないと彼に言います。アッラーは私たちに困難な時期を与えてくださったのです。一つの扉が閉じれば、別の扉が開くでしょう」

### ポリオ根絶活動家たちの絆

この事故は、フーマさんにとって家族の意味を再定義するきっかけとなりました。ポリオプログラムの仲間やリーダーたちからは多大な支援が寄せられました。シンド州緊急対策センターのコーディネーター、イルシャド・ソダールさんにとって、フーマさんを確実に回復させることは使命だと話します。

「最前線で活動するヘルスワーカーの健康を守ることが最も重要です。彼女らはこの大変な仕事を精一杯こなしており、困難に直面したときに支えることがプログラムの義務です」とソダールさんは言います。

ソダールさんは頻繁にフーマさん一家を訪ね、母娘ともに面会を楽しみにしています。

ソダールさんは次のように話します。「フーマが立ち直れるようにするのが私の使命です。事故後、私は国家EOCコーディネーターからシンド州保健大臣、副警視総監まで、できる限りの人に力になってもらいました。家族が十分な資金を確保し、家を障害者に優しいものにし、トイレを作り直し、彼女が利用しやすいようにあらゆる場所を整備しました。フーマさんの回復力には驚かされます。これだけのことがあっても、彼女は今でもポリオ根絶活動に取り組みたいと思っているのです。世界的なポリオ根絶は、第一線で活動する人びとのやる気にかかっています。最前線にいる人たちを最大限に支援しなければ、この仕事を終えることはできません」

国家EOCコーディネーターのシャザド・バイグ医師がフーマさんについて語るとき、しばしば繰り返されるのが「ファミリー」という言葉です。「フーマさんは、私がこれまでに会った人の中で最も素晴らしい人の一人です。事故後すぐに面会しましたが、彼女の心が折れていないことに驚きました。彼女には感謝の気持ちと、もっと良くなるという決意しかありませんでした。彼女は、ポリオ根絶に取り組み私たちファミリーの真の精神を表しています。私たちは必ず、彼女が完全に回復し、義足で歩けるようになります。私たちのパートナーであるロータリーは、すでに義足のための支援を行っています」

WHO ナショナルポリオチームリーダーのザイヌル・アベディン博士は、フーマさんの不屈の精神は、ポリオ根絶に取り組む人たちの強さを体現していると話します。「喪失感と色あせない希

望に彩られたフーマさんの旅路は、パキスタン全国のヘルスワーカーの献身を映し出しています。私たちは、フーマさんや第一線で活動するスタッフに敬意を表し、その犠牲と献身を認め、これからもしっかりとした支援環境を確保していきます」

2023年10月24日の世界ポリオデーに、フーマさんは国民の注目を集めました。

アンワルル・ハク・カカル首相は、ポリオとの闘いにおけるヘルスワーカーのたゆまぬ努力に焦点を当て、フーマさんにその功績を称える盾を授与しました。この表彰は、公衆衛生への貢献だけでなく、逆境に直面したときの彼女の不屈の精神に対するものでした。

人生の新たな章に入ったフーマさんのストーリーは、喪失や苦難だけでなく、計り知れない強さ、コミュニティのサポート、そして揺るぎない希望の物語でもあります。「状況は変わったけれど、人生は続く」とフーマさんは笑顔で話します。「どんなことがあろうと、私たちはそれを受け入れなければなりません」

フーマさんは、ポリオ根絶に向けた活動の再開を熱望しています。

ロータリーボイスより

## 会員基盤を成長させる3つの「マジック」

投稿日：3月11, 2024 投稿者：Rotary Japan  
寄稿者：チュン・ウック・ヒャン（韓国、Seoul-Hansoo ロータリークラブ会員、ロータリー財団管理委員）



私が所属するロータリークラブは、1991年10月、ほかの従来型クラブと同じように創立会員30人で加盟認証されました。約10年前に私が第3640地区ガバナーを務めた年度にクラブ会員数が約100人にまで増え、今年1月には会員数が433名に達して韓国で一番大きなクラブとなりました。どのようにこれが実現したのでしょうか？以下に、クラブの会員基盤成長のために用いた革新的な方法をご紹介します。

一つ目の革新は、約4年前にテ・ギョ・ベクさん、ダ・エ・ベクさん兄妹と出会ったことがきっかけでした。その時に感じた興奮を今も鮮明に覚えています。奉仕に対して同じビジョンを抱いていた私たちは意気投合し、私はすぐに、仕事面や個人的な面で彼らに毎週のようにメンタリングを行うようになりました。やがて彼らは私のロータリークラブに入会し、自身が経営する会社内にロータリー地域社会共同隊（RCC）を設立して積極的に奉仕プロジェクトに参加しました。

その後、このRCCは衛星クラブへと発展しました。このAllkey衛星クラブは、当クラブがスポンサーする初の衛星クラブとして

2021年2月に発足し、独自の例会を開き、独自の奉仕プロジェクトを実施していますが、その会員たちは当クラブ（スポンサークラブ）の例会にも頻繁に出席し、私たちの奉仕プロジェクトや同好会にも参加しています。当クラブの会員は、Allkey衛星クラブの会員へのメンタリングを行っています。また、当クラブから10名の会員が衛星クラブに移籍し、クラブ同士のつながりを育んでいます。Allkey衛星クラブには現在、106名の会員がいます。

二つ目の革新は、2023年2月、当クラブの会員である音楽家でオーケストラ指揮者のリー・バン・ジュン・リーさんとN.T. キムさんが、数名の会員とともに関心特化型の二つ目の衛星クラブ、Bravoce衛星クラブを立ち上げたことです。この衛星クラブでは、62名のプロの歌手が会員となっており、コーラスグループとして公演したり、ロータリーの行事や低所得の人びとへの奉仕活動として美しい歌声を披露しています。

2023年8月には、ファイザーやノバルティスなど韓国で事業を展開するグローバル企業の19名のCEOが、分野特化型の三つ目の衛星クラブを作りました。この衛星クラブの主な役割は、スポンサークラブやほかの衛星クラブの会員に指導とメンタリングを提供することです。そして2023年10月には、54名の大学生が四つ目の衛星クラブを立ち上げ、会員が大学を卒業後もずっと続いていくと予想しています。こうした一方で、私たちスポンサークラブも順調に成長を続けており、現在、会員数は192名となっています。

当クラブの成長の秘密は、要約すると、三つの「マジック」ステップに沿ったことです。それは以下のようなものです：

### ・マジック1

地区ガバナーとなれるリーダーをクラブで育てることに焦点を当てること。これにより、クラブのリーダー層が厚くなります。

### ・マジック2

3～5年間の戦略計画を立てること。継続がカギです。

### ・マジック3

地域社会の人びとのさまざまな関心にアピールする衛星クラブをつくること。入会候補者は、事業経営者、CEO、職業や関心と同じくする人たち（コーラスなど）の中から探すことができます。衛星クラブをつくることは、独立したクラブを一から立ち上げるよりも簡単で、しかもスポンサークラブの支援を得ながら発展し、成長することができます。衛星クラブはいつの日か正式なクラブとして独立するかもしれませんが、それも良いことです。

クラブの成長と存続にとって、革新性は欠かせません。大切なのは、会員数を増やすだけでなく、会員がクラブで成長し、互いに幸せを見出せるようにすることです。このため私たちは、クラブ内に18のグループをつくり、会員のさまざまな趣味や関心を満たせるようにしています。全会員が当クラブのオーナーです。会員がいてこそ、クラブが存在すると固く信じています。

革新的なアプローチで、クラブの活動、特に会員基盤の成長においてマジックを生み出しましょう。革新こそが私たちの希望であり、ロータリーのマジックなのです。

ロータリーボイスより